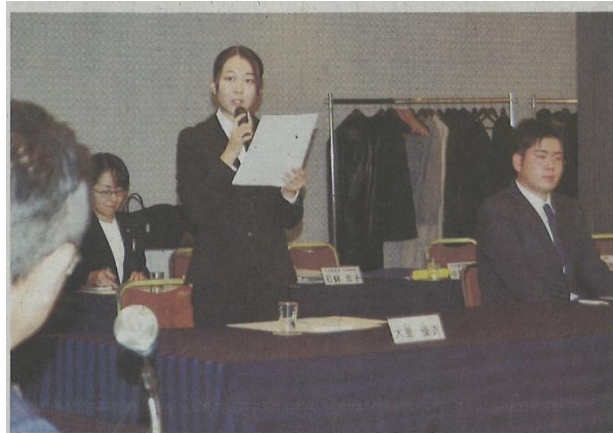


2025年（令和7年）12月4日 木曜日

デーリー東北10面 掲載



八戸市の活性化についてさまざま提言する参加者

八戸

より良い八戸へ提言 20歳迎える10人、市長と懇談

八戸市は11月30日、八戸グランドホテルで「はたちの成人代表者と市長との懇談会」を開いた。本年度、20歳を迎える学生や社会人10人が参加。八戸をより良い街にするためのアイデアを熊谷雄一市長に伝えた。

市長との対話を通じ

（船渡拓）

熊谷市長は「20歳ならではの視点でも参考になった。ぜひ市議会や政治に関心を持ってもらい、一緒に街をつくっていく」と話した。

て郷土への理解を深め、八戸市民としての誇りと責任感を高めてもらおうと継続的に開催している。八戸工業大、八戸学院大、八戸高専などの学生や市外で働く社会人も参加した。

参加者は▽移住や、将来も住み続けたいと思ってもらえる街にするためには▽自分が市長になったとしたら1の2点をテーマに意見を発表。「早稲田大学と北九州市の事例を参考に、県外大学のサテライトキャンパスの誘致はどうか」「移住者・Uターンの人の交流拠点開設を提案する」など、さまざまなアイデアが披露された。スポーツ関連では、11月29日の試合でサッカーJ2昇格を決めたヴァンラーレ八戸も話題に上った。

参加者は▽移住や、将来も住み続けたいと思ってもらえる街にするためには▽自分が市長になったとしたら1の2点をテーマに意見を発表。「早稲田大学と北九州市の事例を参考に、県外大学のサテライトキャンパスの誘致はどうか」「移住者・Uターンの人の交流拠点開設を提案する」など、さまざまなアイデアが披露された。スポーツ関連では、11月29日の試合でサッカーJ2昇格を決めたヴァンラーレ八戸も話題に上った。